2024年2月9日

店頭タブレットおよび個人ポータルアプリの導入決定について

東邦銀行（頭取 佐藤　稔）は、２０２２年９月に策定した「バンキング戦略」に基づき、店頭タブレットおよび個人ポータルアプリの導入を決定しましたので下記の通りお知らせします。

当行では、対面取引におけるお客さまの「手続き負担の最小化」を図るとともに、非対面取引では「場所や時間を選ばない」サービスを提供することで、お客さまに選ばれる銀行を目指してまいります。

記

１．店頭タブレットについて

店頭タブレットは、「ＴＳＵＢＡＳＡアライアンス」（注）で連携する千葉銀行・第四北越銀行・中国銀行で導入されている受付システム「ＴＳＵＢＡＳＡ　Ｓｍｉｌｅ（ＢＩＰＲＯＧＹ株式会社提供）」およびワークフローシステム「ＴＳＵＢＡＳＡ汎用ペーパーレスシステム（日本アイ・ビー・エム株式会社提供）」をベースに開発する予定です。

これによりお客さまの新規口座開設や住所・名義変更などのお手続きが受付から銀行処理、記録・保存まで一貫してペーパーレスで手続き可能となる予定です。なお、サービス提供開始時期につきましては、開発着手時にあらためてお知らせいたします。

２．個人ポータルアプリについて

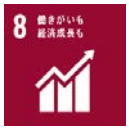
「ＴＳＵＢＡＳＡアライアンス」参加行にて共同開発している新たな個人向けのスマートフォンアプリを導入いたします。

これにより、お振込みや納税等のお手続きが、今まで以上に利用しやすく時間や場所を気にせずにスマートフォンアプリで完結いたします。また、ＴＳＵＢＡＳＡアライアンス連携により利便性の高い非対面サービスをこれまで以上にスピーディーに提供することが可能となる予定です。なお、サービス提供開始時期につきましては、２０２４年度下期を予定しております。

（注）当行、千葉銀行、第四北越銀行、中国銀行、伊予銀行、北洋銀行、武蔵野銀行、滋賀銀行、琉球銀行、群馬銀行の 10 行が参加する地銀広域連携の枠組み。

以　上

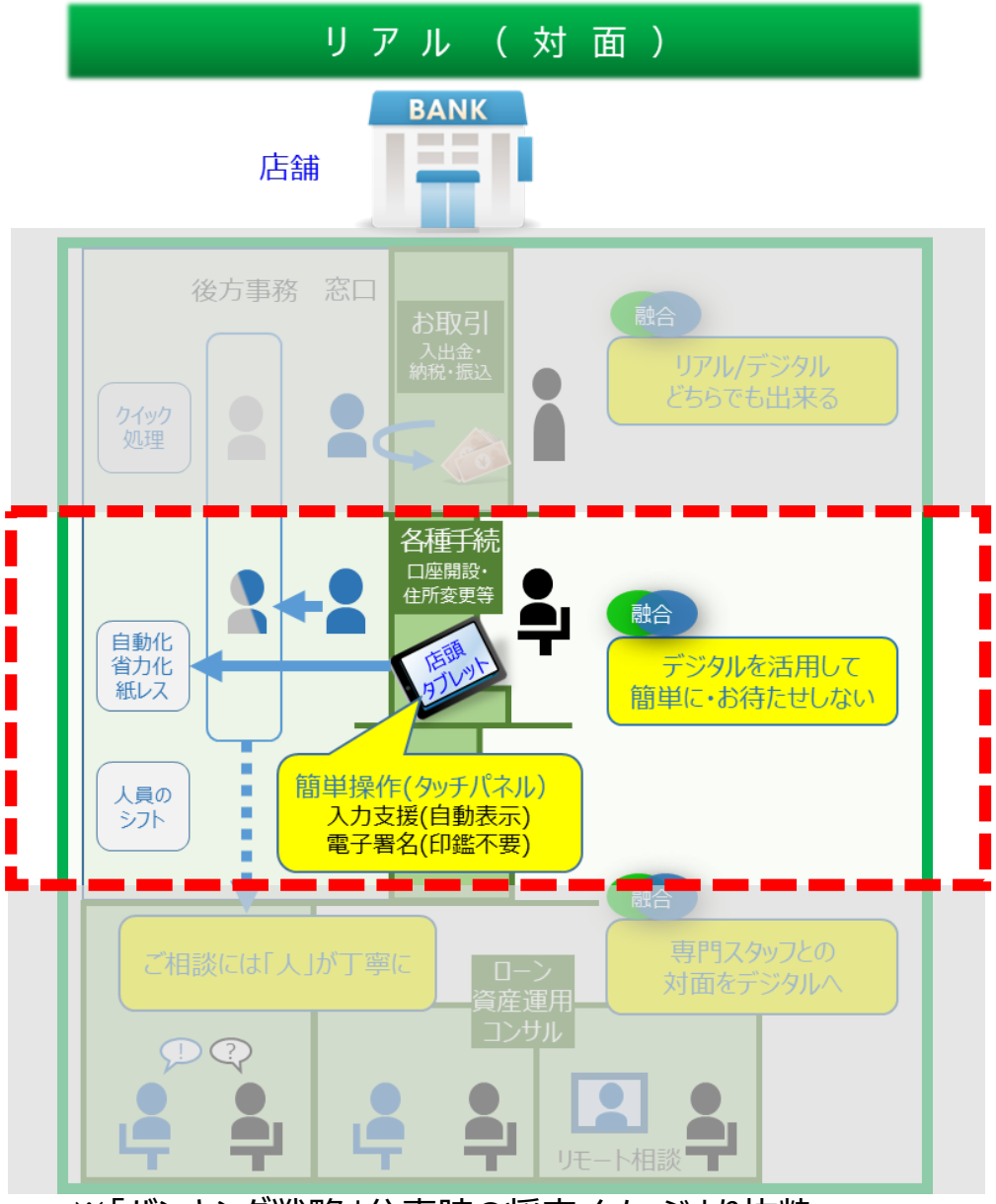
＜関連するＳＤＧｓ＞



東邦銀行グループでは、『とうほうＳＤＧｓ宣言』を制定し、グループ全体で地域経済の活性化や社会的課題の解決に向けた取組みを通して“地域社会に貢献する会社へ”を目指しています。

東邦銀行

当行が目指す将来像①

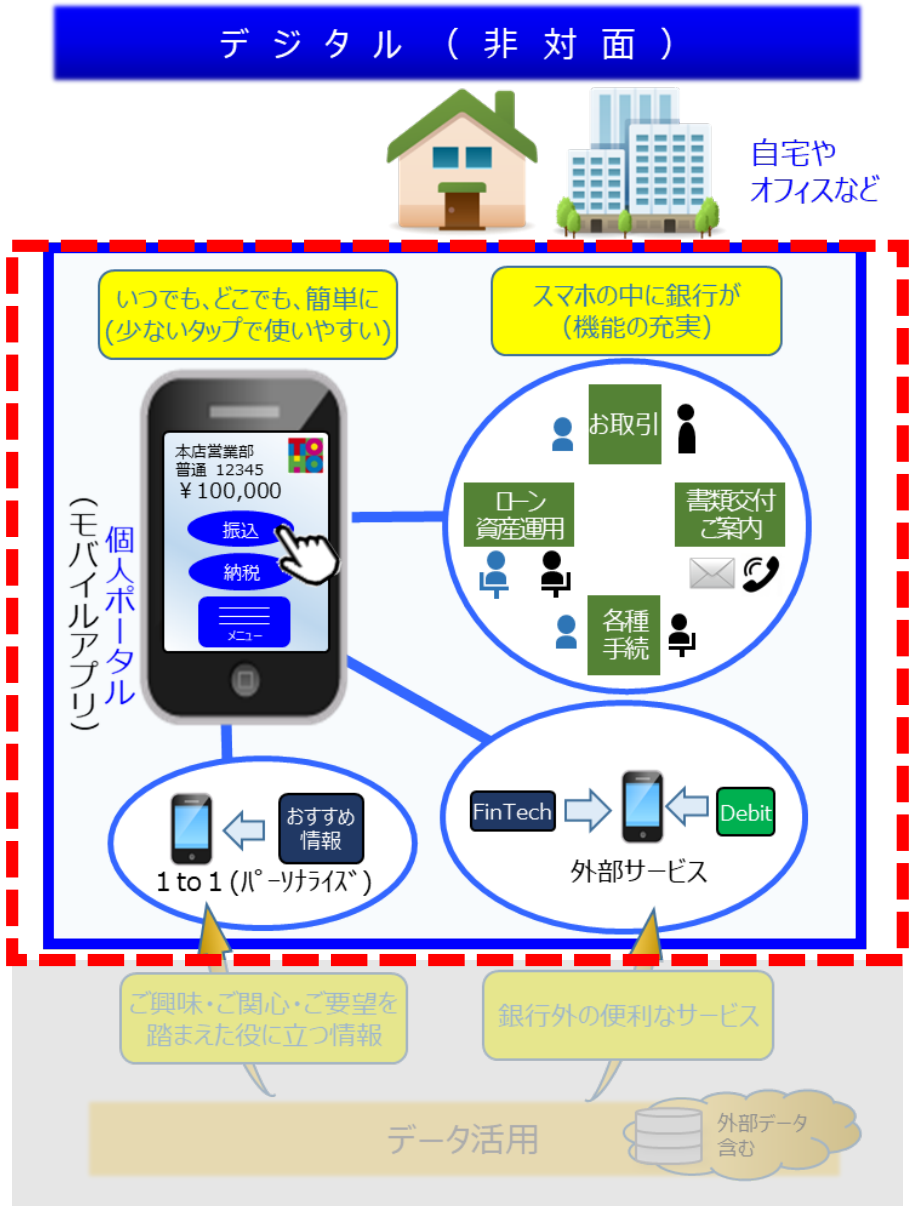


※「バンキング戦略」公表時の将来イメージより抜粋

活用シーンイメージ

使用機器

当行が目指す将来像②



※「バンキング戦略」公表時の将来イメージより抜粋

今回導入するアプリのイメージ

トップ画面

導入予定機能

ファーストリリース（2024年度下期）

- ○残高・入出金照会
- ○振込・振替
- ○定期預金 新規開設・預入・解約
- ○カードローン 借入・返済
- ○税金収納・各種支払
- ○他行・他社情報連携　等

セカンドリリース（2025年度予定）

- ○JCBクレジット・デビット連携
- ○カードローン 新規開設
- ○入出金明細通知
- ○引落予定通知　等

スマートフォンの利用を意識した視認性、操作性を考えた新たなアプリを導入予定